

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

山形県長井市
が応援するふるさと名物

「水のまち」ながい
水を活かしたふるさと名物

長井市 三階滝





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

地域の
プロフィール①

長井市は山形県南西部に位置する、人口2万7,000人ほどの町です。市内には置賜野川、置賜白川、そして市の南北を貫流する最上川が流れる水に恵まれた土地です。「長井」の地名は「水が集まるところ」に由来しており、江戸時代には「山の港町」として最上川舟運により栄え、商業を中心に発展を遂げました。現在でも当時隆盛を誇った豪商の面影を残す歴史的建造物や豊かな自然景観、地勢を生かした趣のあるコンパクトな街並みが形成されています。

山形県長井市





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

地域の
プロフィール②

長井の水は市の西部に連なる朝日山系を源流として
います。同地にはブナの原生林が点在しており、
豊富なブナ林により磨かれた水は硬度20mg以下の
超軟水となります。長井市では地下40m以上の
深井戸から取水することで、朝日山系の恵みである
超軟水を水道水として活用しています。

また、豊富な水資源を活用し、米を中心とした農
作物や歴史的建造物を活かした観光業、競技用けん
玉等の工業製品の生産も盛んに行われています。

山形県長井市



【長井ダムから朝日山系を望む】

ふるさと名物の内容と主な地域資源（観光資源）

- ◆ふるさと名物：「水」を活かした観光のまち
- ◆主な地域資源：長井市内の戦前から続く街並み、最上川

長井市の豊富な水資源は生活の一部に溶け込んでおり、市街には水路が張り巡らされています。近年はこの水路をまち歩き等の観光資源に活用し、初夏になると水路内には清流にしか生育しない、梅花藻が花を咲かせ、観光客の目を楽しませます。

また、市内を貫流する最上川沿いに長井市初の道の駅となる「川のみなと長井」がオープンするなど、観光資源としての「水」を活用したまちづくりが行われています。



【まちなか水路】



【道の駅「川のみなと長井」】

ふるさと名物の内容と主な地域資源（鉦工業品）

- ◆ふるさと名物：競技用けん玉生産量日本一のまち
- ◆主な地域資源：競技用けん玉

長井市は競技用けん玉の国内シェアが9割を越え、近年では海外展開も行っています。また、原材料として、地元産木材を活用し、豊かな「水」の源である森林資源の保全、活用にも繋がっています。

最近では、2014年に『長井けん玉のふる里プロジェクト』がスタートし、けん玉の交流、普及の拠点として長井駅前に「けん玉広場SPIKE」もオープンしました。

更に毎年、けん玉普及のための各種大会やイベントも開催されており、「けん玉のまち長井」としてPRをしています。



【競技用けん玉「大空」】



【けん玉広場「SPIKE」】

ふるさと名物の内容と主な地域資源（農林水産品）

- ◆ふるさと名物：長井の「水」で栽培した農作物と加工品
- ◆主な地域資源：米（日本酒など）、行者菜、えだまめ（馬のかみしめ）

長井市では豊富な水資源と肥沃な土壌のもと、水稻栽培が盛んです。さらに収穫された米と長井の「水」を用いた酒造りも古来より行われ、現在でも市内の酒蔵各社による味わい深い日本酒が製造されています。

また、水稻に加えて、各種園芸作物、希少性の高い伝統野菜の栽培や果樹栽培も盛んに行われています。

更に市内農家や各事業者がそれら作物を利用した6次産業化に力を入れており、長井市を挙げて新たな産業づくりに取り組んでいます。



【長井の地酒】



【伝統野菜「馬のかみしめ」】

ふるさと名物に関する長井市の取り組み

1

イベント・PR

◆市内のけん玉グループを中心とした「**けん玉の記録への挑戦**」などのけん玉イベントの開催

◆「**市内酒蔵やまちなか水路を巡るツアー**」の実施

◆市内の農業に関わる方々が集い、農作物や加工品の磨き上げ、販路開拓を行う、「**長井市6次産業化推進協議会**」が発足し、地元の農作物を使用したビジネスへ向けた活動もスタートしています。

◆道の駅「**川のみなと長井**」内にやまがた長井観光局及び長井市観光協会の事務所を併設し、「**水のまち長井**」の観光案内、情報発信を行っています。

2

協議会

3

その他活動



【けん玉ギネス挑戦イベント】



【長井市6次産業化協議会】